

株式会社昭和建装

事業内容：住宅の外壁・内壁・屋根の塗装を中心に、大規模改修工事、防水工事、家具・什器塗装など幅広く対応している。

創業：53年



代表取締役 間野 浩臣さん

■長寿の秘訣や大切にされている考えなどをお聞かせください。

大切にしていることは「真面目であれ。忠実に誠実に」ということです。ごまかしたり、ズルをしたりすることはできないですね。

建築業としても、一つ間違ってしまっただけで人命に関わりますし、人と関わって仕事をしていく上でそれは守らなければいけないと思っています。

先代からも「真面目であれ」と言われ続けてきました。

■従業員に対するマネジメントの面で、大切にされていることや工夫されていることはございますか。

従業員の中には特徴がある人も多くて、「うちの会社だから」という方針にはめ込まないようにしてきました。それよりも「この人なら何が出来るかな」という視点で、それぞれの個性を活かした技術を伸ばしてもらっています。

例えば、管理やパソコン作業が得意な従業員がいれば、身体を使った作業よりも現場監督といった仕事を任せたり、適材適所でその人の特徴にはまるような仕事を探してきています。

ここで苦手なところに無理やりはめ込んでしまうと、嫌がってしまったり、退職してしまう可能性が出てきてしまいます。

もちろん、一辺倒になってしまったり、自分の仕事以外をやらなくなってしまったりすることがあるかも

しれません。

ただ、従業員のモチベーション向上に繋がったり、手に職がつくことがそれぞれの自信に繋がると信じています。

従って、コミュニケーションを取ったり、話し方の癖を分析していくうちに、得意なことや、合うものを見つけていくことが大事だと思っています。

時間はかかるかもしれませんが、人によっては入り込まれすぎるのを嫌う人もいるので、相手に合わせたコミュニケーションの取り方も重要だと考えています。

■ご自身が就任されてから、新しく取り入れたことやチャレンジしたことはございますか。

一つは外国人の実習生を取り入れたことです。

きっかけは、ベトナムから突然電話がかかってきて「採用予定はありますか」と聞かれたことです。当時は日本にまだ実習制度のようなものが浸透していない時代でしたが、だんだん当社の高齢化問題が進んでおり、人手が不足していたため試しに話を聞いてみることにしました。

現在は外国人実習生を4人雇用しており、英語力のある人は海外の大使館の仕事を任せたりと、最初は自分がやるとは思ってもみなかった試みですが、他の日本人従業員と同じように、国籍問わず彼らの個性を生かした仕事で一緒に働いてもらっています。

